

レポート提出について

2015年4月1日

電子情報学科 計算機基礎実習 I 担当 小堀 聡

どの授業においても、全回の出席を原則とするのと同様に、レポートについてもすべて提出することを原則としている。

本科目は実習科目であるので、当然この原則に従う。したがって、原則として、レポート未提出（メールでの送信の場合は未送信）につき3点を平常点の40点から減点していく（平常点の最低点は0点）。

また、レポートの提出（メール送信）の期限は最大延長して次の授業の開始時間までであり、特別の事情なく提出が遅れた場合は、減点の対象となる。さらに、件名の間違いなども減点である。

さらに、レポートの内容の評価としては、おおむね70%以上の出来であれば、減点とはならない（つまり、期限内に正しい件名で70%以上の出来のレポートを送信すれば何も問題はない）。一方、50%以上70%未満の場合は1点の減点、30%以上50%未満の場合は2点の減点、30%未満の場合は3点の減点（つまり、未提出と同じ）とする。また、他人のレポートを丸写ししているような場合には、特に予告なく3点の減点とする場合があるので注意すること（どちらがコピー元か分からない場合は両方ともに減点となる）。その他の不正についても厳格に対処する。

このように平常点から減点していくのは、毎回のレポートをしっかりと書いて提出することを習慣づけるためであり、いい加減なレポートを出すことを抑止するためである。

以上